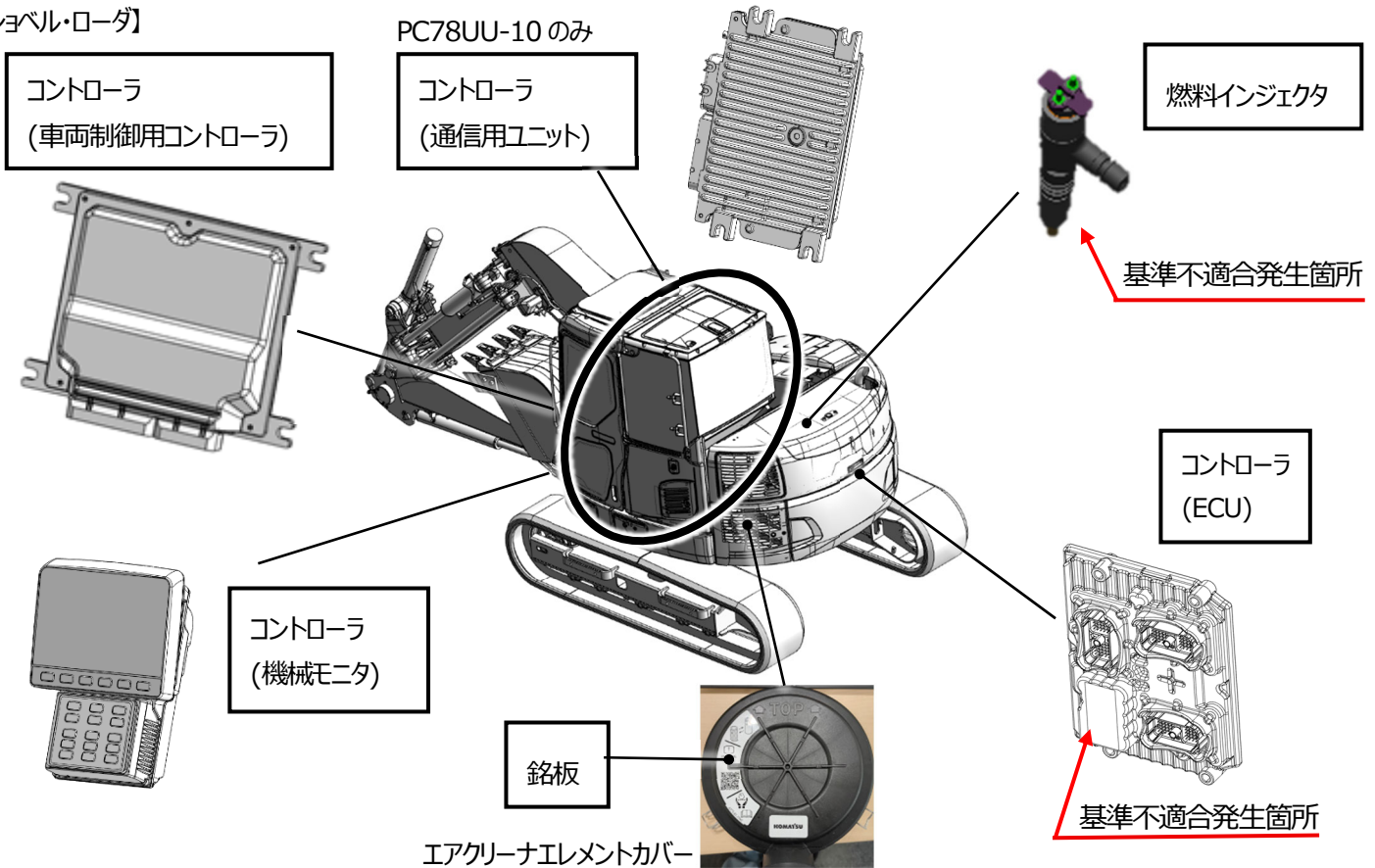


改善箇所説明図

【ショベル・ローダ】



注：□ は、措置する装置を示す

ショベル・ローダ等において、設計検討が不十分なため、

- ①経時劣化により燃料インジェクタの噴射ノズルが摩耗し、燃料噴射量が増加する
- ②可変ターボ内部にダスト等が付着することで空気供給効率が低下する
- ③MAF センサのセンシング部にエアクリナーで捕足しきれなかったダストが付着し、実際よりも多い空気流量として誤認識することがある。そのため、そのまま使用を続けると、これらの不具合が複合的に作用して空燃比が低下し、煤の発生が増加し、PM（粒子状物質）の排出量が規制値を超過するおそれがある。

改善措置の内容

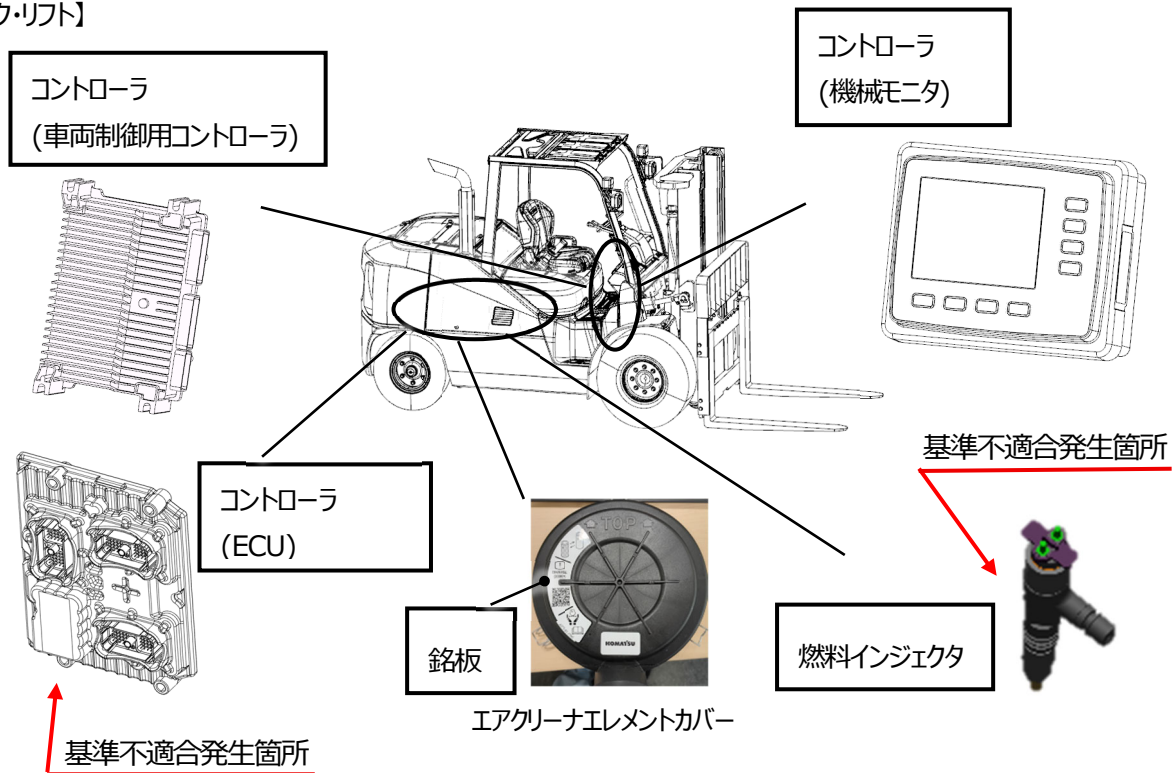
全車両、以下の対策を行う。

- ①燃料インジェクタを対策品に交換する。
- ②コントローラのプログラムを対策プログラムに書き換える。
- ③取扱説明書に MAF センサ自動補正の運転方法を追加する。
- ④エアクリナーエレメントカバーに MAF センサ自動補正の実施を促す銘板を貼り付ける。

識別：エアクリナーエレメントカバーに貼り付けた銘板の有無で識別する。

改善箇所説明図

【フォークリフト】



注：□ は、措置する装置を示す

ショベル・ローダ等において、設計検討が不十分なため、

- ① 経時劣化により燃料インジェクタの噴射ノズルが摩耗し、燃料噴射量が増加する
- ② 可変ターボ内部にダスト等が付着することで空気供給効率が低下する
- ③ MAF センサのセンシング部にエアクリーナで捕捉しきれなかったダストが付着し、実際よりも多い空気流量として誤認識することがある。そのため、そのまま使用を続けると、これらの不具合が複合的に作用して空燃比が低下し、煤の発生が増加して、PM（粒子状物質）の排出量が規制値を超過するおそれがある。

改善措置の内容：

全車両、以下の対策を行う。

- ① 燃料インジェクタを対策品に交換する。
- ② コントローラのプログラムを対策プログラムに書き換える。
- ③ 取扱説明書に MAF センサ自動補正の運転方法を追加する。
- ④ エアクリーナエレメントカバーに MAF センサ自動補正の実施を促す銘板を貼り付ける。

識別：エアクリーナエレメントカバーに貼り付けた銘板の有無で識別する。